

事業所名 愛心子どもの家(児童発達支援)

作成日 令和7年 3月 21日

支援プログラム

事業所名	法人（事業所）理念	家庭的な雰囲気の中で、落ち着いて、楽しく、充実した時間が過ごせる空間を提供します。				
支援方針	一人一人に寄り添い、状態や特性に応じた支援をします。 共感や共有をしながら支援します。 自己選択、自己決定を大切に、自立に向けて支援します。 自己肯定感が持てるよう支援します。					
営業時間	平日9時 学校休日8時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	支援内容
健康・生活	検査や観察を通じて、一人一人の健康状態（身体、心）を把握します。 片付けやお手伝いを通じて、日常生活に関する力を伸ばします。 排泄や服脱などに支障が必要な子どもにも状態に応じた支援をします。					
運動・感觉	活動や遊びに対する子どもに理解しやすく構造化（タイム一や時間の提示、手順書や1日のスケジュール、カレンダー等の視覚的ツールの活用）し、見通しを持ち安心して活動ができるよう支援します。 平均台やバランスボール、マットなどを使った運動、ダンスなどの室内運動や屋外（敷地内）での砂遊びや縄跳び、散歩や公園外出など体を使つた活動を取り入れ、体力向上を図ります。					
本 人 支 援	ブロック等の創作活動を通じて、空間の概念の形成を図ります。 タイムダイマーの表示を通して、時間の概念の形成を図ります。 見本やイラスト等で正しい言動を示すなどして、視覚的な情報から適切な行動ができるよう支援します。					
言語 コミュニケーション	視覚的に複数の選択肢の中から自分のしたいことを選択し、相手に伝えたり、どうしたい、何がしたいかを子どもに尋ねることで、自己選択・自己決定ができるよう支援します。					
人間関係 社会性	子どもの気持ちに寄り添い、傾聴し、共感的な関わりをします。また、役割を任せたり、手伝いをしてもらったり、できたこと・正しい言動等を支援者が認めたり褒めることで、支援者と信頼関係を構築し、自己肯定感が高まるよう支援します。 活動の手順やルールを理解し、子どもたちの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、と共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合ながら、仲間づくりにつながるよう支援します。					
家族支援	他児との活動中の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援します。				移行支援	卒園後の切り替えが円滑に進むよう学校・関係機関と連携、情報共有をしながら支援を行います。
地域支援・地域連携	連絡帳でのやり取りやお迎え時に情報共有させていただきます。子どもに開することの相談を随時させていただきます。 必要に応じて関係機関と連携して支援させていただきます。 ご家族参加型の行事を通じて、保護者の方とお話させていただき、交流を図っています。					月2回会議を行っています。 勤務終了後、勤務終わりにミーティングを実施し、確認と振り返りを行っています。 職場内研修を行い、職場外研修や講習会へ積極的に参加をしております。
主な行事等	季節の行事（七夕、夏祭り、ハロウィンパーティ、クリスマス会、初詣、盆分、花見など） 保護者参加型の行事（ぱくう狩り、みかん狩り、いちご狩り、お餅つきなど） 公園外出、図書館外出など				職員の質の向上	